

ホクレンパールライス部の輸出の取り組み

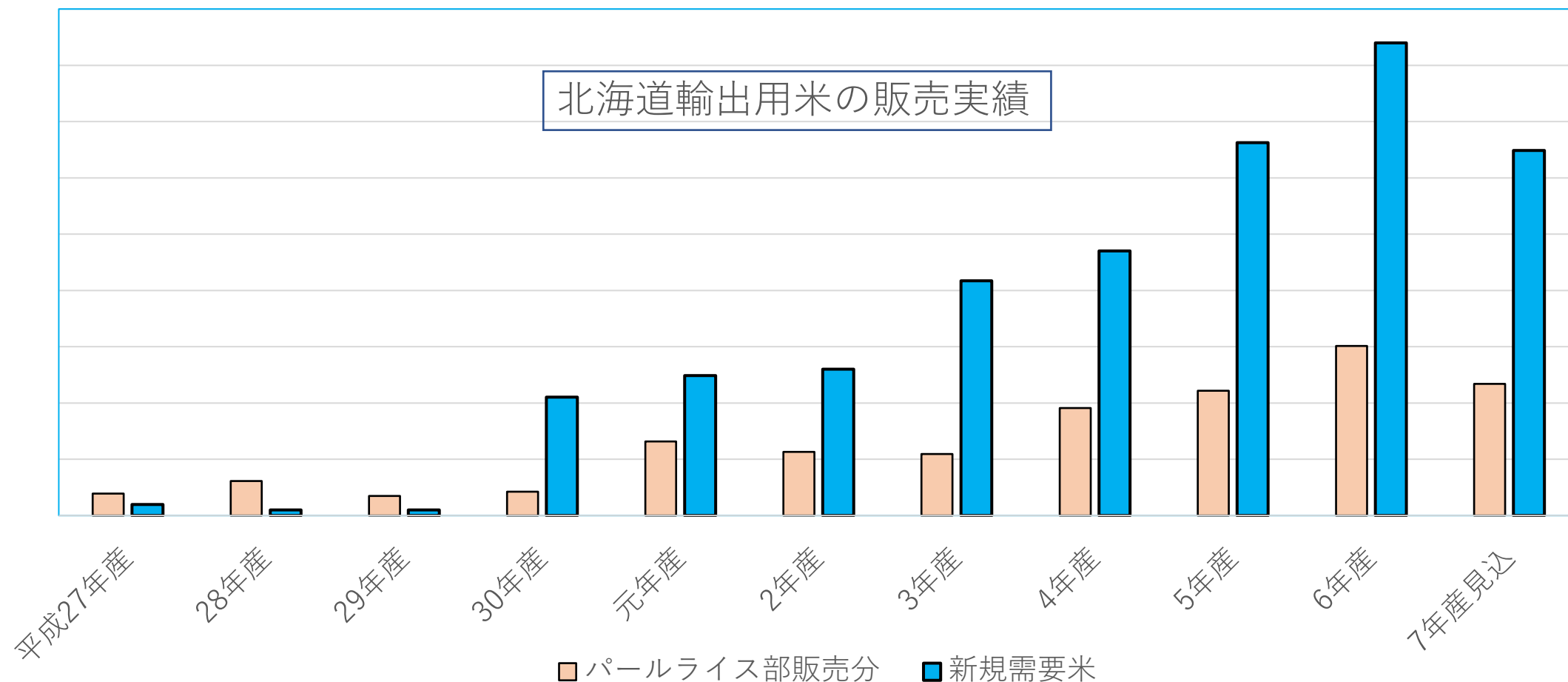
令和 8 年 2 月

つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に



北海道輸出用米の取り組み

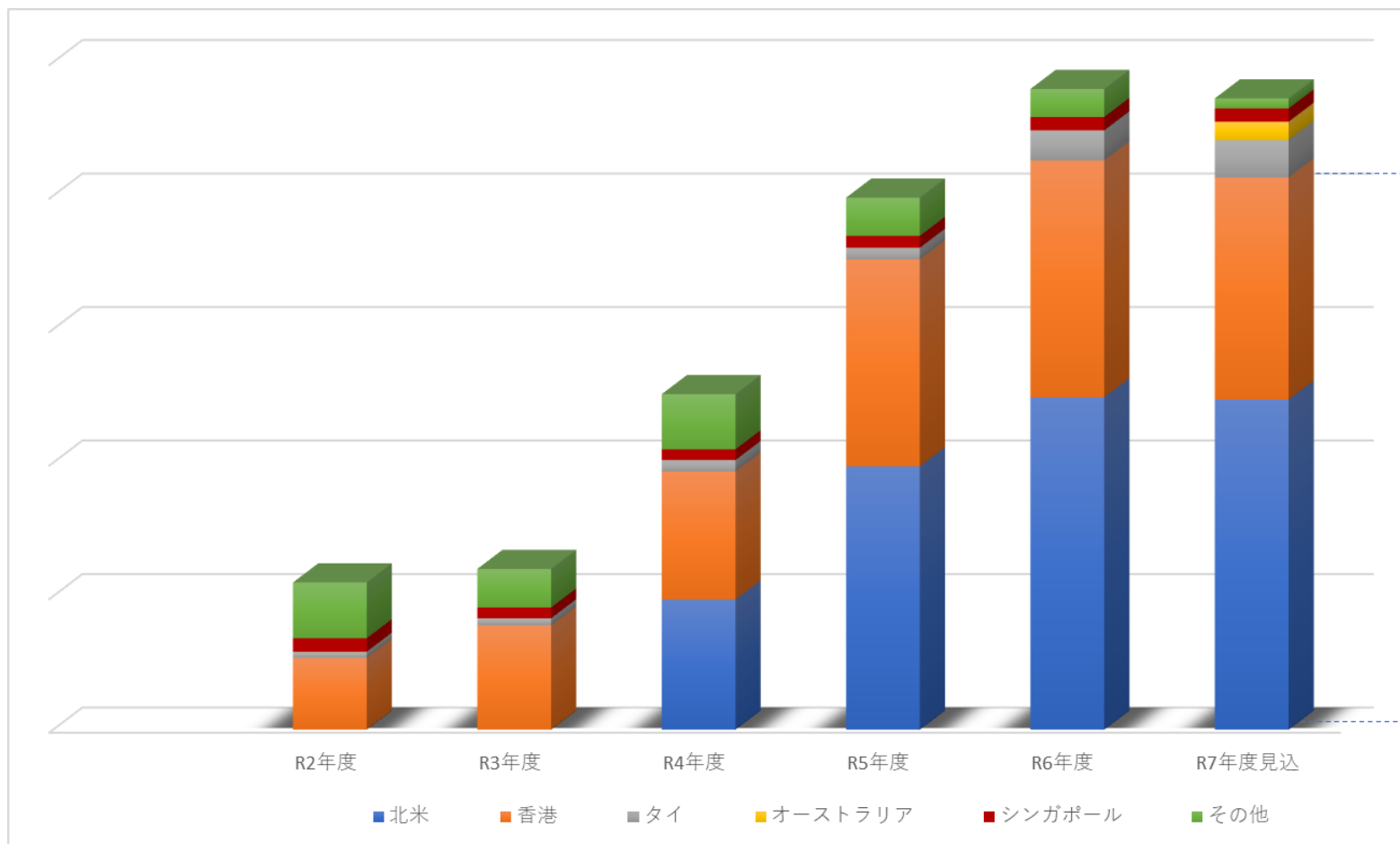
○国内の人口減少を背景に主食用米需要が減少傾向にある中で、将来的な水稻作付面積の維持に向けた販路確保を図るべく、「北海道」の人気の高いアジア圏を中心に輸出用米の需要拡大に取り組んできた経過にあります。



輸出用精米販売実績

- 現在の主な輸出国は北米（アメリカ・カナダ）および香港が中心となっております。
- R7年度から新たにオーストラリアへの輸出もスタートしています。

◆パールライス部国別精米販売実績



北米と香港の実績が全体の9割弱

主要輸出先例 北米

■輸出形態：世界各国に支店をもつ輸出入商社を通じた販売

■取組経過

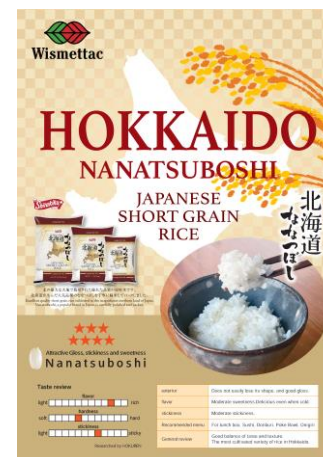
- ・ R3年産の干ばつによるカリフォルニア米の大不作の状況下で北海道米の販売を開始しました。
- ・ 北米の飲食店（寿司・おむすび等）や日系スーパー等に「ななつぼし」を中心の販売を行っています。
- ・ 円安の影響もあり、販売開始以来年々数量を拡大してきましたが、R6年産・R7年産のカリフォルニア米が豊作基調であり価格が下落していることや、アメリカの相互関税（15%）発動により販売環境は悪化しています。
- ・ 取り引きを行っている商社と協議の上、飲食店については高級業態への提案や、店頭販売においては、販促支援（ポスターや木札の掲示、広告の協賛等）を実施しながら、販売数量の維持・拡大に取り組んでいます。



<北米向けPB>



<NY寿司店展開例>



<販促資材>



主要輸出先例 香港

■輸出形態：弊会子会社を通じて香港に約150店舗展開するおむすび店へ販売

■取り組み経過

- ・2019年より北海道米の販売を開始しており、店舗の拡大とともに販売数量が年々拡大しております。
- ・令和3年産より指定4産地にて、「ふっくりんこ」・「ななつぼし」の供給を行っています。
- ・同社より北海道米の品質については高評価をいただいております、今後は安定的な取り引きの継続に向けた取組強化を図ってまいります。



<店舗①>



<店舗②>



<自動販売機>

その他輸出先

○市販用から業務用まで広く展開をしている中で、「ななつぼし」「ゆめぴりか」を中心とした販売を行っております。



<ななつぼし輸出用NB>



<ゆめぴりか輸出用NB>



<売場展開例>

現地日系百貨店・量販店、日本食レストランへ販売。

今後の課題および対応策について

【課題】

- 日本国内の米の需給情勢が不安定であり、輸出用米の安定的な数量確保に課題があります。
- また、需給情勢の変動により輸出用米の価格も大きく影響を受けています。7年産米では、6年産米からの大幅な値上げにより、輸出先国における現地米や、他国からの輸入米との価格差が広がり、商談が難航しています。

【対応策】

- 長期的に安定した輸出用米の数量確保に向け、国の事業を活用しながら課題解決に取り組んでいます。
- 輸出用米に取り組む産地の収容力負担軽減施策…GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト（以下GFP）
- 販路拡大に向けた欧州市場へのアプローチ
- 欧州の残留農薬基準を満たす米の生産・集荷体制整備と、欧州基準の残留農薬検査の実施（GFP）
- 北米・欧州向け現地規格パレットによる物流実証試験（GFP） … など



つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に

